

高野神社

高野は多加乃と訓べし○祭神詳ならず○小坂村に在す、又は由伎志呂明神とも稱す、
姓氏録、右京陸高野造、出自百濟國人佐平余自信之後也、また、和泉國高野、大名草彦命之後
也、或云、内額に由伎志呂宮大明神、正殿左方有二社、一社稱眞釜、一社稱燒釜、傳云、
大嘗會時之悠紀之田に由ありと云々、此説本社考證の便りはなけれど、博覽の爲にのす、
連胤 按に、此邊は百濟人の居し處なれば、高野造の氏社ならん、

類社

(缺く)

印伎志呂神社

印伎志呂は假字也○祭神詳ならず、或云大己貴命、○若浦村に在す
按に、前なる高野神社にも由伎志呂の稱あり、伊伎由伎普通す、奥地志に、伊伎は由伎の誤なりと
云ごしかるべからず、されど何れか訛なるべし、

佐久奈度神社 名神大

佐久奈度は假字也○祭神瀬織津姫命○大石莊東村に在す、今は櫻谷社と稱す、頭注に、一名佐久
○式三、臨時名神祭二百八十五座、中近江國佐久奈度神社一座、其谷明神と云り、

大祓詞に、高山之末、短山之末、佐久那太理爾落瀧津、速川乃瀬織津織津姫止云神、云々
と云る、則ち是なり、謹て崇敬すべし、

神位 明神

明治廿二年
七月十九日
官幣大社に
昇格在茲に
賀縣近江國
栗太郡瀬田
村字神領田
祭神例
祭日四月十
五日

建部神社 名神大

文德實錄、仁壽元年六月甲寅、詔以近江國散久難度神、列於明神、三代實錄、貞觀元年正月
廿七日甲申、奉授近江國從五位下佐久奈度神從五位上、

建部は多邨邊と訓べし○祭神大己貴命、或云、天明玉命、神○神領村に在す○式三、臨時
名神祭二百八十五座、略近江國建部神社一座、○當國一宮也一宮○永万記、建部社、神祇官
日本紀景行天皇卷に、初日本武尊娶兩道入姬皇女、爲妃、生稻依別王、中是犬上君、武部
君、凡二族之始祖也、又云、日本武尊、崩于能夜野、云々、欲錄功名、即定武部、也、古事
記、倭建命娶近淡海之安國造之祖意富多牟和氣之女、布多遲比賣、生御子稻依別王、中大
上君、建部君等之祖、舊事紀姓氏錄、右京皇建部公、犬上朝臣同祖、日本武尊之後也、

神位 官社

三代實錄、貞觀二年三月辛亥朔、近江國建部神列於官社、同五年六月八日己亥、授近江國正
六位上建部神從五位下、同十年七月十一日壬寅、授近江國建部神從四位上、扶桑略記裡書、
延喜元年四月十三日乙丑、近江國正四位下建部神、奉授從三位、位記請印、日本紀略、應和
二年六月九日乙未、授近江國坐建部神正三位、

雜事

伯家部類に、江州勢田郷建部明神事

甲賀郡八座 大二座小六座